

脳卒中および後遺症の診療における 鍼灸の考え方

[執筆] 粕谷大智 (新潟医療福祉大学リハビリテーション学部鍼灸健康学科教授)

[監修] 寺澤佳洋 (口之津病院内科・総合診療科, 医師・鍼灸師)

鈴木雅雄 (福島県立医科大学会津医療センター漢方医学研究室教授)

本コンテンツはハイブリッド版です。PDFだけでなくスマホ等でも読みやすいHTML版も併せてご利用いただけます。

▶ HTML版のご利用に当たっては、PDFデータダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶ シリアルナンバー付きのメールはご購入から3営業日以内にお送り致します。

▶ 弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することでHTML版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶ 登録手続

1. はじめに	p2
2. 症例提示	p2
3. 脳卒中の後遺症に対する鍼灸のエビデンス	p7
4. 脳卒中の後遺症に対する鍼灸治療の実際	p8
1) 楽な体位 (ポジショニング)	
2) 中枢性疼痛	
3) 痙性 (筋のこわばり, 拘縮)	
4) 肩手症候群	
5) 摂食・嚥下障害	
6) 浮腫, 排尿障害	
7) 共通治療	
5. 予防としての鍼灸	p16
6. まとめ	p16

▶ 販売サイトはこちら

日本医事新報社では、Webオリジナルコンテンツを制作・販売しています。

▶ Webコンテンツ一覧

1. はじめに

脳卒中の後遺症に対する鍼灸は、以前からリハビリテーションを円滑に遂行するために、または鎮痛や痙縮予防として行われてきた。日本脳卒中学会の『脳卒中治療ガイドライン2021』においても、複合性局所疼痛症候群（肩手症候群）に対して、訓練と併用して鍼治療を行うことを勧める「推奨度A」とされている。また、それ以外にも、痙縮に対する経皮的末梢神経電気刺激（transcutaneous electrical nerve stimulation：TENS）も「推奨度A」、摂食・嚥下障害や排尿障害へのTENSは「推奨度B」、脳卒中後うつに対する鍼治療は「推奨度C」とされている。このように、痛みや痙縮だけでなく、後遺症で悩む多くの患者のQOLを低下させる症状に対して、効果が報告されている（表1）。今回は本疾患における鍼灸の役割とその効果について紹介する。

表1 脳卒中治療ガイドライン2021

脳卒中後の症状	推奨度
複合性局所疼痛症候群（肩手症候群）に、訓練と併用して鍼治療を行う	推奨度A エビデンスレベル高
痙縮に対してTENSを行う	推奨度A エビデンスレベル高
摂食・嚥下障害に、咽頭部へのTENSを行う	推奨度B エビデンスレベル高
脳卒中後うつに、鍼治療を行う	推奨度C エビデンスレベル中
排尿障害に、TENSを行う	推奨度B エビデンスレベル中

TENS：経皮的末梢神経電気刺激

（脳卒中治療ガイドライン2021より作成）

2. 症例提示

94歳 男性

【診断病名】

脳梗塞後遺症

【現病歴】

20XX年：脳梗塞→右片麻痺，歩行困難（歩行器），浮腫。痛みや痺れはなし

20XX+1年：4/28, 転倒による左大腿部骨折

7/28, 術後良好で自宅退院

8/13, 以前から手足が震える, 身体がこわばると訴えあり

9/9, 鍼灸希望あり来院

【既往歴】

- ・70歳：前立腺癌手術, 白内障
- ・90歳：高血圧, 不整脈
- ・92歳：脳梗塞 (右片麻痺)
- ・93歳：大動脈閉鎖不全症, 冠攣縮性狭心症

【SOAP】

S: subjective (主観的情報)

1: 上肢麻痺側の拘縮

- ・手のこわばりで小さい文字が書きにくい

2: 浮腫

- ・足の浮腫は, 寝ているときはそれほどひどくはない

→リンパ浮腫との診断はない

3: 歩きにくさ

- ・歩行器は脳梗塞後2年前から使用している
- ・横になると手足が冷たくなる

目標: 歩けるようになりたい

O: objective (客観的情報)

- ・BI: 95/100
- ・VI: 10/10
- ・日により足関節上部まで発赤→発赤部位を避けて刺鍼
- ・右肩甲骨挙上: 肩甲挙筋, 菱形筋の筋緊張
- ・腱反射: 右膝蓋腱反射軽度亢進

→脳梗塞による中枢神経異常, 他, 腱反射正常

	右	左
C5	↑	↑
C6	↑	↑
C7	↑	↑
L4	↑↑	↑
S1	↑	↑

・動脈拍動：不整脈もあり，全体的に弱い

→ASO除外

	右	左
足背動脈拍動	NP	NP
後脛骨動脈拍動	↓↓	↓↓
大腿動脈拍動	NP	↓↓

・関節運動（回/10秒）

→右片麻痺

	右	左
手指関節	10	11
手関節	10	11
肘関節	7	7
足関節	11	11
足指関節	10	11

・振動覚（日により感度が異なる）

→少しボーッとしている日や心拍数が低い日は感じないことが多い

	右	左
内果	○	○
膝蓋骨頭	○	○
茎状突起	○	○

・触覚（日により感度が異なる）